



LIxil アルミ多段柱 -60角-



ライセンスフェンス・プレスタフェンス(8K型を除く) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

<施工上のご注意>

注意

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
 - ・製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので下記事項をお守りください。
 - ・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ネジ：1.0N・m±0.3N・m(10±3kgf・cm)、φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)


<基礎工事について>

注意


- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守ってください。強度低下の原因となります。

■梱包明細書

【1】柱セット

名 称	略 図	員 数
柱		1

【2】上下ブラケットセット


名 称	略 図	員 数	
		上段がライシスフェンス用	上段がプレスタフェンス用
上ブラケット(ライシス用)		1	—
上ブラケット(プレスタ用)		—	1
下ブラケット		1	1
ブラケット裏板		2	2
【2-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種 (D=8)(※1)		2	2
【2-2】φ4×10 トラスタッピンネジ3種 (D=8)(※2)		1	1
【2-3】φ5×20 ナベタッピンネジ3種 (D=9)(※3)		1	1
取付説明書<C448>	—	1	1

※1：フェンスの下空き80mmより広げる場合1本余ります。








※2：フェンス1スパンの場合に使用します。

※3：フェンスの下空き80mmより広げる場合に使用します。

【3】中間ブラケットセット

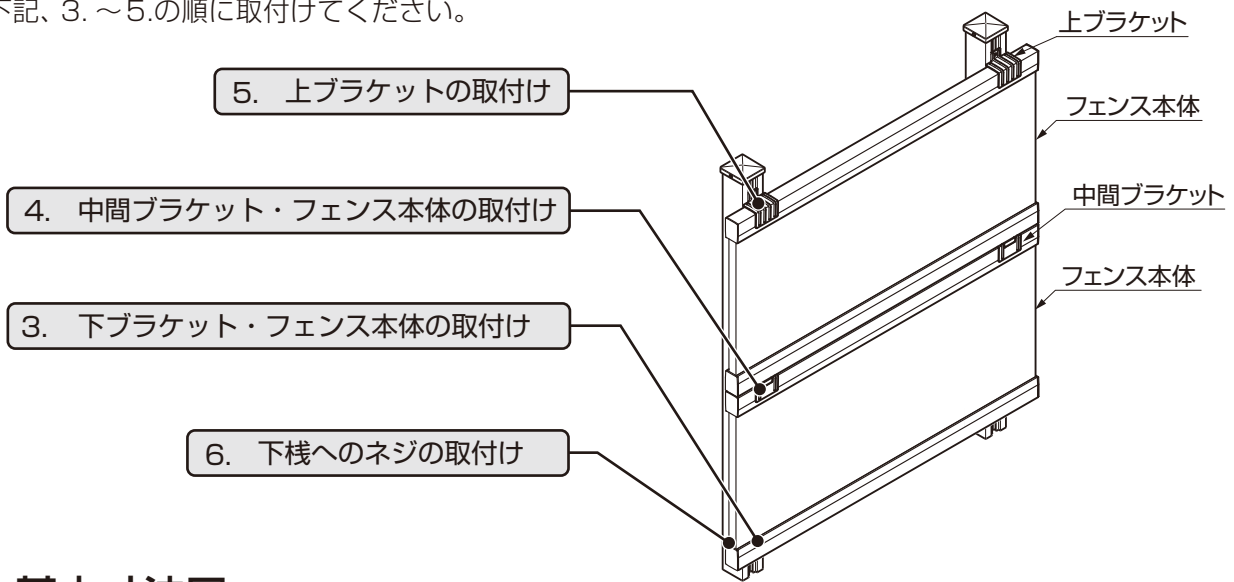
名 称	略 図	員 数	
		下段がライシスフェンス用	下段がプレスタフェンス用
中間ブラケット(ライシス用)		1	—
中間ブラケット(プレスタ用)		—	1
ブラケット裏板		1	1
【3-1】φ5×10 トラスタッピンネジ 3種(D=8)		1	1
すきま隠し材		2	2

【4】継手セット

名 称	略 図	員 数		
		ライシスフェンス用	プレスタフェンス(A)用	プレスタフェンス(B)用
上棧ストレートジョイント (ライシス用)		1	—	—
上棧ストレートジョイントA (プレスタ用)		—	1	—
上棧ストレートジョイントB (プレスタ用)		—	—	1
下棧ストレートジョイント (ライシス用)		1	—	—
下棧ストレートジョイントA (プレスタ用)		—	1	—
下棧ストレートジョイントB (プレスタ用)		—	—	1
【4-1】φ4×10 トラスタッピンネジ1種 (D=8)		4	4	4

1. 取付けの流れ

●下記、3.～5.の順に取付けてください。



2. 基本寸法図

ポイント

●プレスタフェンス8K型 傾斜地仕様には対応していません。

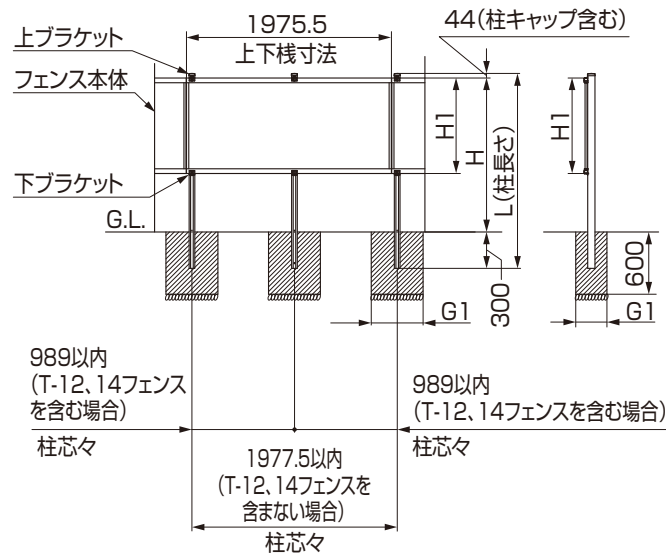


図2-1 1段施工基本図

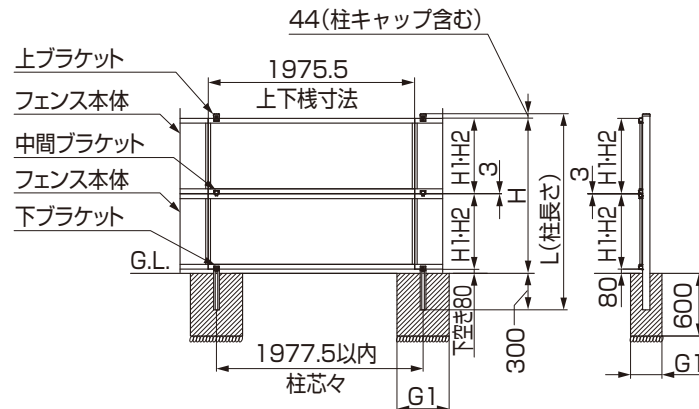


図2-2 2段施工基本図

2. 基本寸法図 つづき

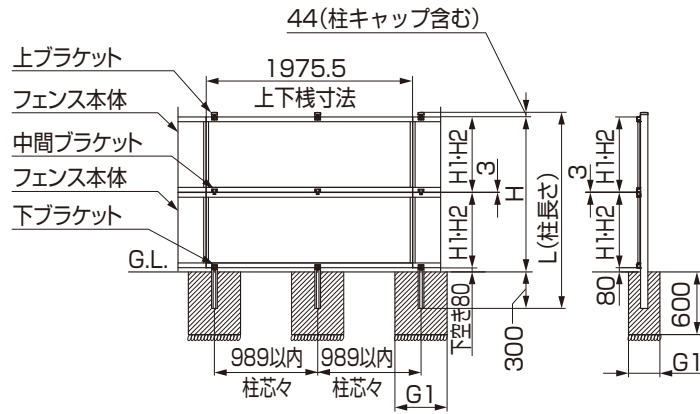


図2-3 T-12、14フェンスを含む場合の
2段施工基本図

表2-1 1段施工基本寸法表

呼称	H	L	H1	G1	G2
T-14	1323	1660	520,720, 920,1120	350	300
T-16	1523	1860	520,720, 920,1120,	400	300
T-18	1723	2060	1320	500	300
T-20	1923	2260		550	300

※ T-14サイズの柱にT-14サイズのフェンスは取付けられません。

※ G1は独立基礎、G2は連続基礎の場合を示します。(図2-4、図2-5参照)

表2-2 2段施工基本寸法表

呼称	H	L	H1・H2	H1・H2	G1	G2
T-14	1323	1660	520	720	350	300
T-16	1523	1860	520	920	400	300
			720	720		
T-18	1723	2060	520	1120	500	300
			720	920		
T-20	1923	2260	520	1320	550	300
			720	1120		
			920	920		

※ G1は独立基礎、G2は連続基礎の場合を示します。(図2-4、図2-5参照)

注意

- 柱はブロックに施工しないでください。高尺のため強い風圧を受け、飛散事故の原因になります。
- 基礎が沈降したり傾いたりすることがあるため、必ず割栗石を敷いてください。

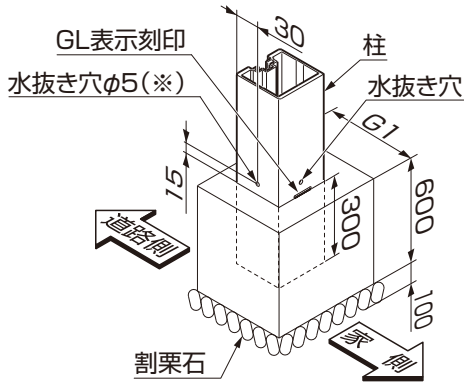


図2-4 独立基礎の場合

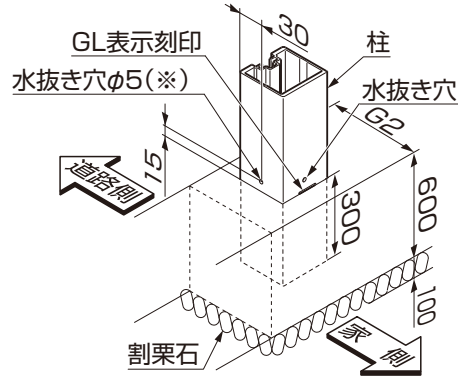


図2-5 連続基礎の場合

ポイント

- 埋込みは、GL表示線上面を基準にP4.5の施工基本寸法を参照して行ってください。(表2-1、表2-2参照)
- 埋込みGL表示線より深く埋め込む場合は、水抜き穴をあけてください。(※)

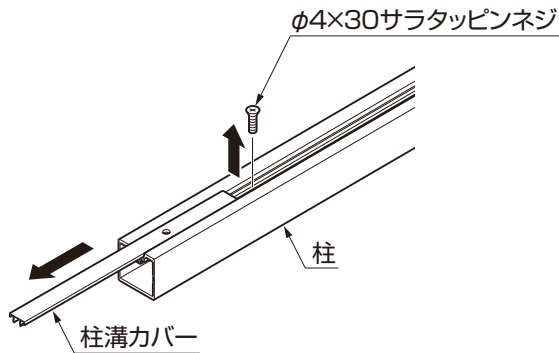


図2-6 柱溝カバーの取外し

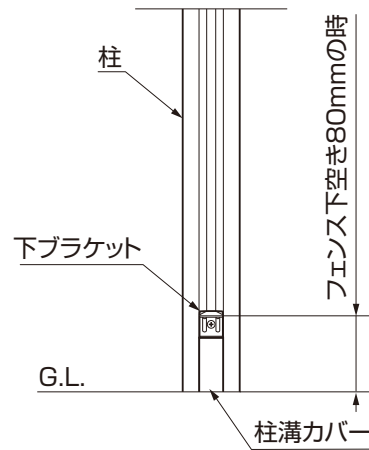


図2-7 フェンス下空き80mmの場合

補足

- フェンス1段施工などの場合で、下ブラケット取付け位置がフェンス下空き80mmより上に取付ける場合は、止めているφ4×30サラタツピンネジを外し、柱溝カバーをスライドさせて取外し、柱を埋め込んでください。(図2-6参照)
- 取外したφ4×30サラタツピンネジは元の位置に取付けてください。
- 下ブラケットが柱の柱溝カバーと接する位置に取付けた場合は、フェンス下空きが80mmになります。(図2-7参照)

3. 下ブラケット・フェンス本体の取付け

3-1 フェンス下空きが80mmを越えて下ブラケットを取付ける場合

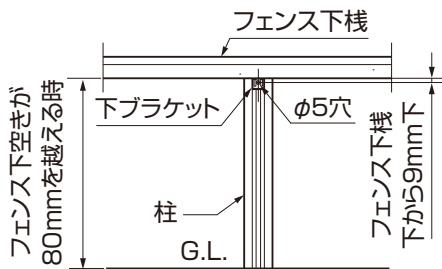


図3-1

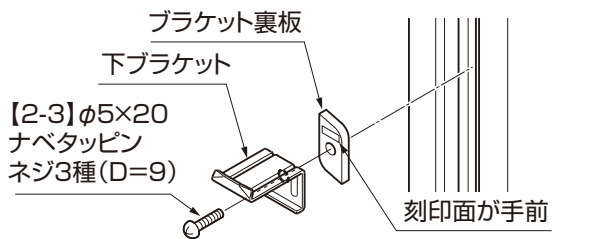


図3-2 ※刻印には「表」と表記されています

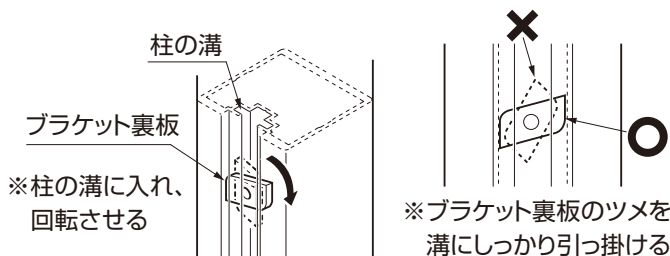


図3-3 ブラケット裏板の取付詳細図

3-2 フェンス下空きが80mmで下ブラケットを取付ける場合

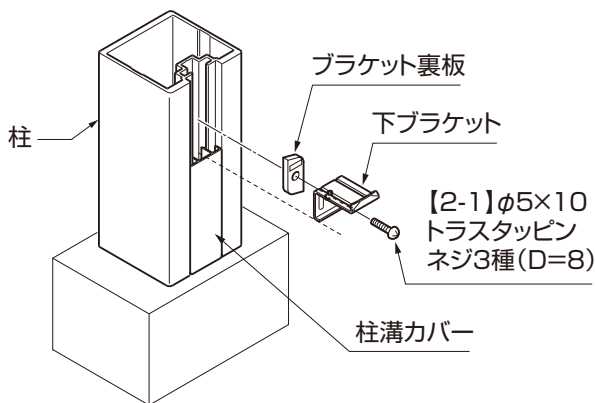


図3-4

3-3 フェンス本体の取付け

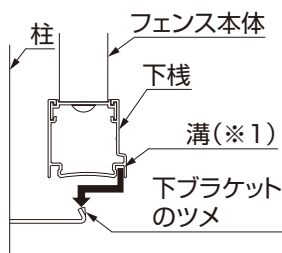


図3-5 図はプレスタフェンスを示しています

①下ブラケットの取付けネジの位置にφ5mmの穴をあけてください。(図3-1参照)

②ブラケット裏板を【2-3】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏の区別があります。必ず刻印面を手前に向けて取付けてください。(図3-2参照)

補足

●下ブラケットの取付けがフェンス下空80mmを越えて取付ける場合は、【2-3】のネジを使用してください。

ポイント

●【2-3】を使用する場合、必ずφ5mmの穴をあけてください。下ブラケットはこの穴をあけないと取付けられません。

③下ブラケットを柱に【2-3】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【2-3】のネジを回した時、ブラケット裏板がしっかり回転していることを確認してください。(図3-3参照)

①ブラケット裏板を【2-1】で仮止めしてください。

ポイント

●ブラケット裏板には表裏の区別があります。必ず刻印面を手前に向けて取付けてください。(図3-2参照)

●下ブラケットが柱の柱溝カバーと接する位置に取付けてください。

②下ブラケットを柱に【2-1】でしっかりと固定してください。

ポイント

●【2-1】のネジを回した時、ブラケット裏板がしっかり回転していることを確認してください。(図3-3参照)

①下柵の溝(※1)に下ブラケットのツメが入るようにフェンス本体を取付けてください。(図3-5参照)

補足

●図3-5の下柵はライシスフェンス、プレスタフェンスも同様の納め方です。

ポイント

●一度ツメが下柵の溝に入ると抜けづらくなるため、しっかりと位置を確認してフェンス本体を取付けてください。

●下ブラケットの場合は、下ブラケットを止めているネジをゆるめるとフェンス本体を下ブラケットから外しやすくなります。

4. 中間ブラケット・フェンス本体の取付け

4-1 中間ブラケットの取付け

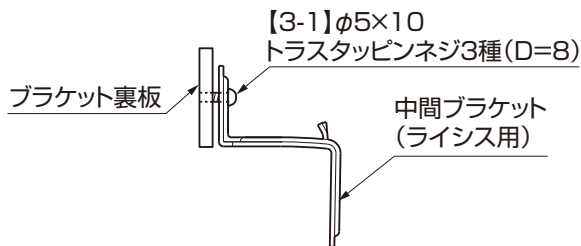


図4-1 中間ブラケット(ライシス用)

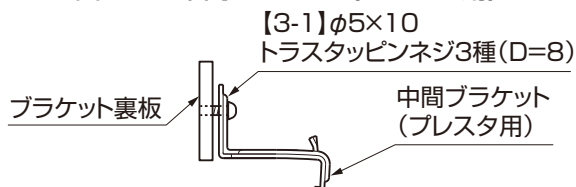


図4-2 中間ブラケット(プレスタ用)

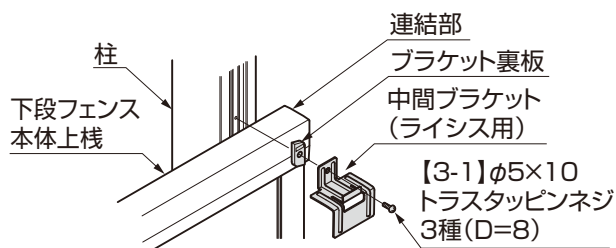


図4-3 図は下段フェンスがライシスフェンスの場合を示しています

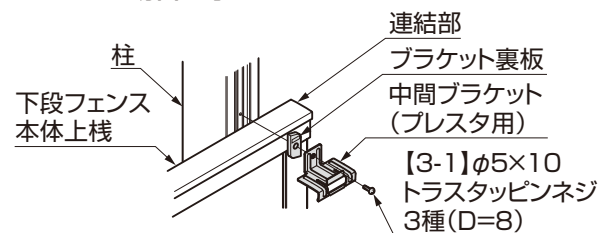


図4-4 図は下段フェンスがプレスタフェンスの場合を示しています

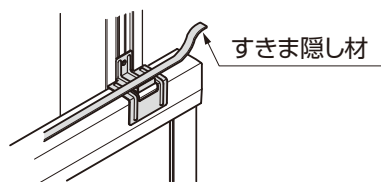


図4-5

4-2 フェンス本体の取付け

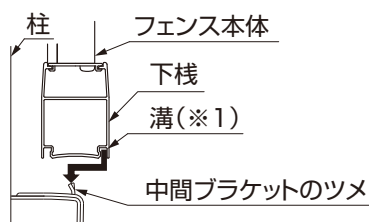


図4-6 図はライシスフェンスの場合を示しています

①下段フェンスの機種に合わせて中間ブラケットとブラケット裏板を【3-1】で仮止めしてください。(図4-1、図4-2参照)

ポイント

●ブラケット裏板には表裏の区別があります。必ず刻印面を手前に向けて取付けてください。(図3-2参照)

②①のブラケット裏板を柱の溝に入れ、中間ブラケットをフェンス本体上棧に上から押しつけながら【3-1】でしっかりと固定してください。(図4-3、図4-4参照)

ポイント

●【3-1】のネジを回した時、ブラケット裏板がしっかり回転していることを確認してください。(図3-3参照)

③フェンス本体上棧の上部にすきま隠し材を貼付けてください。(図4-5参照)

ポイント

●すきま隠し材は上段フェンスを設置する前に取付けてください。

①上段フェンスの下棧の溝(※1)に中間ブラケットのツメが入るように取付けてください。(図4-6参照)

補足

●図4-6の下棧はライシスフェンス、プレスタフェンスも同様の納め方です。

ポイント

●一度ツメが下棧の溝に入ると抜けづらくなるため、しっかりと位置を確認してフェンス本体を取付けてください。

●フェンス本体を外す際は、下棧小口面を横方向からゴムハンマー等で叩いて下ブラケットのツメを外し、フェンス本体を持ち上げて取外してください。

5. 上ブラケットの取付け

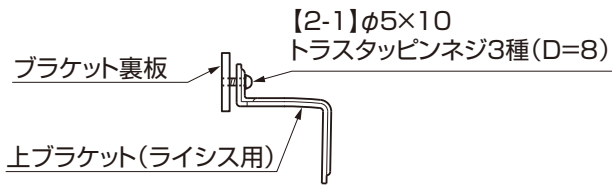


図5-1 上ブラケット(ライシス用)

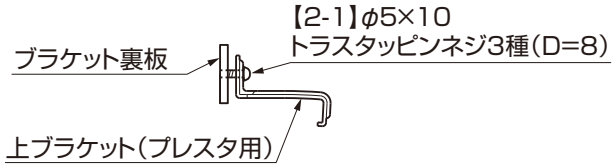


図5-2 上ブラケット(プレスタ用)

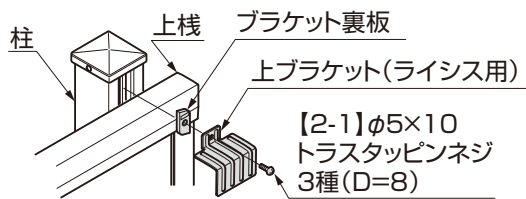


図5-3 図は上段フェンスがライシスフェンスの場合を示しています

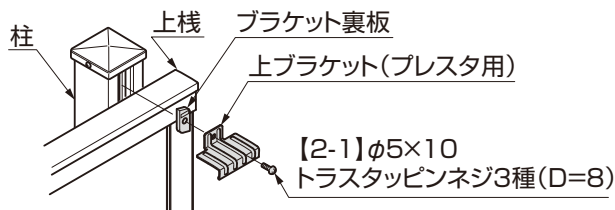


図5-4 図は上段フェンスがプレスタフェンスの場合を示しています

- ①上段フェンスの機種に合わせて上ブラケットとブラケット裏板を【2-1】で仮止めしてください。(図5-1、図5-2参照)

ポイント

- ブラケット裏板には表裏の区別があります。必ず刻印面を手前に向けて取付けてください。(図3-2参照)

- ②①のブラケット裏板を柱の溝に入れ、上ブラケットをフェンス本体上棧に上から押しつけながら【2-1】でしっかりと固定してください。(図5-3、図5-4参照)

ポイント

- 【2-1】のネジを回した時、ブラケット裏板がしっかり回転していることを確認してください。(図3-3参照)

6. 下棧へのネジの取付け

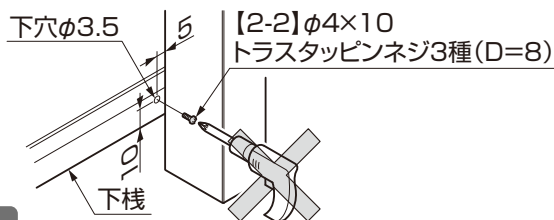


図6-1

ポイント

- フェンス1スパンのみでかつ、図6-1のパターンで施工する場合【2-2】を下棧へ取付けてください。
- 取付けの際は電動工具などは使用しないでください。

補足

- 【2-2】はフェンス本体が左右にずれないようにする為のネジです。
- 柱の内々側或いは、柱の外々側になるところに取付けてください。

取説コード

C448

JZZ629972A
201501A_1047
201607B_1039